



くすい箱

発行
 桐生厚生総合病院 薬剤部
 発行責任者 田村 潤一
 編集担当者 平野 浩司
 亀岡 桐代

2008年6月発行

第8回目のテーマは、“赤ちゃんへの薬のあげ方”についての紹介です。

赤ちゃんへのお薬のあげ方

薬の袋には、『1日〇回、〇日分、食後に』といったことが書かれています。指示を守ることで薬の効果を十分に発揮させ、副作用を最小とすることができます。薬には、それぞれのお子さんに最も適した量があります。医師はお子さんの病気の状態やその他の合併症などを考慮して投薬量を決めているのです。医師に指示された時間に、指示された量を飲ませることが大切です。

<乳児の場合>

哺乳回数も多く食事の時間も決まっていない場合、1日3回は朝、昼、夕を目安に、とくに医師の指示がない場合は夜間寝ているときには休薬する。

粉薬の飲ませ方は？

- ★ 少量の水または、白湯で溶かし、スプーンやスポイトで飲ませる。
- ★ 粉薬を1～2滴の水で練り、頬の内側や上あごに塗りつける。または、練って団子状に丸めた薬をそのまま口に入れ、水または白湯などと一緒に飲ませる。舌先は苦味を強く感じるので、上あごにつけたほうが服用しやすいでしょう。
- ★ 一緒に処方されたシロップ剤と混ぜて飲ませる。
- ★ 好きな食べ物に混ぜる。
 ジュース、ヨーグルト、アイスクリーム、ジャム、ゼリー、プリン等に混ぜることによって、薬特有の味がごまかされ、飲みやすくなります。ただし、スポーツドリンクやジュースに混ぜると、味が悪くなる薬もあります。ミルクやおかゆなど、味を嫌って食べなくなると困るもの(主食)に混ぜるのは避けます。



※ 粉薬は、高温多湿を避け、日の当たらない涼しい場所で保管しましょう。乾燥剤を入れた缶などにいれるといいでしょう。頓服の解熱剤などの保管は、1ヶ月が目安です。

シロップ剤の飲ませ方は？

<p>★ スプーンで飲ませる。 スプーンを飲ませるように服用させます。吐き出してしまう可能性があるため、心持ち口の奥のほうへ入れましょう。こぼさないように、一口分を少なめにして数回で飲ませましょう。</p>	
<p>★ スポイトで飲ませる。 頬の内側に流し込むようにし、喉をつつかないように気をつけましょう。</p>	
<p>★ 乳首で飲ませる。 ミルク期の子に。乳首にシロップを入れ、キャップ部分をもって吸わせませます。</p>	

※ シロップ剤は、砂糖水のようなものに数種類の薬の成分が混ざっているため、変質しやすく、長期の保管はできません。冷蔵庫で1週間程度の保存が目安です。服用期間がすぎたら、飲み残しは捨てましょう。

患者さんからのよくある質問について紹介します！

Q1: もらった薬はいつから服用しますか？

今回の病気でまだお薬を服用していない場合は、処方されたお薬を帰宅後すぐにお飲み下さい。せっかくお薬をもらっても服薬が遅くなると、それだけお薬の効果が現れるのに時間がかかるからです。

2回目以降のお薬は薬を与える間隔を参考にして下さい。また、子ども用のお薬は空腹時に服用して胃を荒らしたりすることは殆どなく、むしろ、空腹時にお薬をお飲ませいただく方がよい場合もあります。

Q2: 1日3回の薬の与薬時間はいつごろですか？

1日3回のお薬は、夜のお薬と朝のお薬の間隔が長くないようにするのがポイントです。

＜服薬例：起床7時頃、就寝21時頃の場合＞

朝起きたらすぐに1回目（7時頃）、お子さんが寝る前に3回目（21時頃）、2回目はその中間の14時頃（7時と21時の中間は14時頃）に服用するとよいでしょう。8時間毎が理想的ですがお子さんの睡眠を妨げないようにしましょう。



Q3: 保育園で昼の薬が飲めません

お子さんを保育園から引き取ったらすぐにお薬をお飲ませ下さい。1日3回のお薬は8時間毎に服用すると最も効果があります。保育園で昼の12時頃に服薬すると朝と昼の間隔が短すぎる事もあります。

＜服薬例：保育園から帰る時間が16時頃、起床7時頃、就寝21頃の場合＞

保育園から帰ったらすぐに2回目を服薬（16時頃）、寝る直前に3回目を服薬（21時頃）、朝起きたらすぐ1回目をお飲ませ下さい（7時頃）。

この場合、1回目と2回目の間隔が9時間、2回目と3回目の間隔が5時間であり、おおむね8時間間隔で服薬できます。2～3時間のズレは気にしなくても大丈夫です。

Q4: 空腹時に薬を与えて良いのでしょうか？

大丈夫です。大人の薬と違い通常の服薬量で空腹時に胃を荒らすことは殆どありません。病気のお子さんは規則正しく食事が取れない事が多く、おっぱいやミルクを飲んでいる赤ちゃんでは何時が食後なのか判りにくいものです。特に、嘔吐・下痢などの胃腸症状の強いお子さんは、腸の働きが弱っていることが多いので、服薬後30分位は食事を控えた方がよいこともあります。

Q5: いっぺんに飲めないのですが…

一度に全てのお薬を与えられなくても大丈夫です。まずのめるお薬から与え、気分転換をして30分くらい経ってから苦手なお薬をお飲ませ下さい。その逆でも良いでしょう。

Q6: どうしても飲んでくれないのです！

粉薬をシロップに変えたり、違う種類のお薬に変えることができる場合もありますので、遠慮なくお申し出下さい。

次回は、“解熱鎮痛薬について”のテーマで、2008年9月発行予定です。